

# お知らせします

## 「マスタープラン 後期実施計画」の進捗について

概ね順調  
です!

水道局では現在、「中長期経営計画～マスタープラン～」の後期実施計画（平成22年度～26年度）に従って事業を進めています。この計画について、平成22・23年度の進捗状況をお知らせします。

事業の実施については概ね順調です。計画の取りやめや平成27年度以降への先送りはありません。ただし、一部事業（青山浄水場施設整備事業など）は平成26年度までの実施工程を見直しました。

この進捗状況について、水道局外部の委員により構成されている諮問機関「水道事業経営審議会」からは「全般的に概ね順調で財政状況も現時点で良好。より一層のコスト削減や工程を見直した事業の計画期間内の着実な実施を望む」などの意見をいただいています。

※後期実施計画の進捗状況、事務事業評価結果（平成22・23年度）、業務指標の推移（平成17～23年度）および水道事業経営審議会議事録はホームページや市政情報室でより詳しくご覧いただけます。

### ◎ 主な事業の取り組み状況

#### 安全でおいしい水の供給

安全性、おいしさに関わる基準のうち、一部について国よりも厳しい独自の基準を設定し、浄水処理の適正化に努めています。

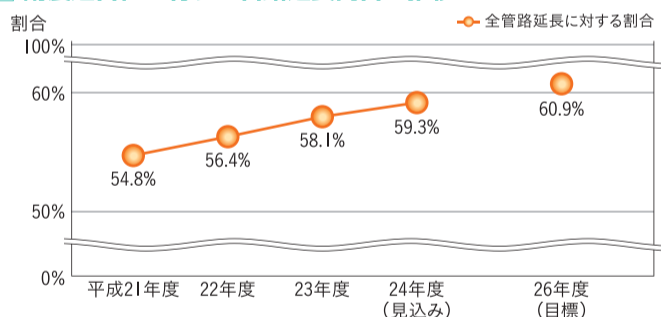
✓ 独自基準の達成率(年間全検査件数に対する独自基準を満たした検査件数の割合)

項目	国基準	独自基準	独自基準達成率
安全性	農薬類	1(比の総和)以下	0.1(比の総和)以下 100%(平成22・23年度)
	トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.05mg/L以下 100%(平成22・23年度)
おいしさ	残留塩素	1mg/L以下	0.5mg/L以下 88%・87%(平成22年度(平成23年度))
	臭気強度	3以下	2以下 100%(平成22・23年度)

#### 施設の老朽化対策と耐震化

浄水場や水道管の老朽化対策と耐震化を進めています。青山浄水場では、配水池などの耐震化に着手しました。水道管では、老朽化した管を耐震管に入れ替えています。これにより、全管路延長に対する「耐震適合性を有する管路の延長割合」は目標に向けて着実に向上しています。

✓ 耐震適合性を有する管路延長割合の推移



#### TOPICS

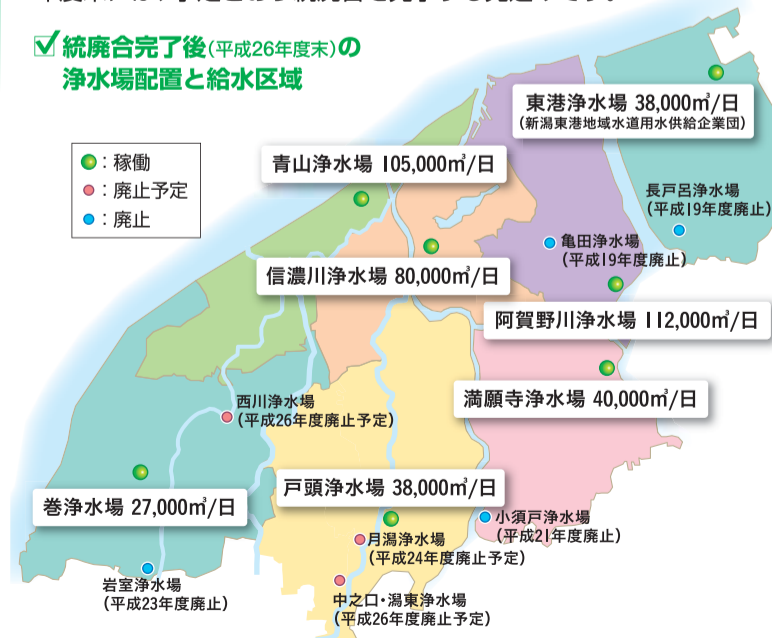
水道局では平成21年度以降、年平均約80kmの長さの耐震管を布設しています。これは、直線距離で新潟市役所から福島県喜多方市役所付近までの距離に相当します。



#### 浄水場の統廃合

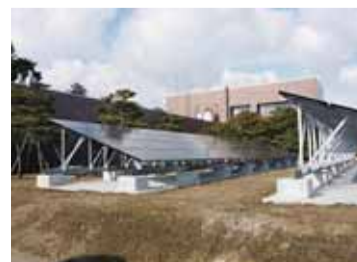
前期計画期間(平成19～21年度)に引き続き、浄配水施設の統廃合を進めています。平成26年度末には、予定どおり統廃合を完了する見込みです。

✓ 統廃合完了後(平成26年度末)の浄水場配置と給水区域



#### 環境に配慮した事業運営

✓ 水質管理センター太陽光発電設備(平成23年度稼働)



既存の太陽光発電設備(信濃川浄水場:出力100kw)に加え、平成23年度には水質管理センターに同設備を設置しました(出力19.8kw)。また、全ての浄水場における浄水発生土の処理を、電力を消費しない天日乾燥とするための施設整備を進めています。

●お問い合わせは ☎ 0120-411-002 水道局経営企画室へ